

## 2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年1月14日

上場会社名 株式会社エスエルディー 上場取引所 東  
コード番号 3223 URL <http://www.sld-inc.com/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 有村 譲  
問合せ先責任者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 有村 譲 (TEL) 03-6866-0245  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年2月期第3四半期の業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	2,769	2.4	108	12.8	107	5.7	103	14.5
2024年2月期第3四半期	2,703	20.2	96	—	101	—	90	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2025年2月期第3四半期	—	50.65	—	—				
2024年2月期第3四半期	—	42.31	—	—				

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	1,085	456	42.0
2024年2月期	1,048	385	36.7

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 455百万円 2024年2月期 384百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当の状況に関する注記

## 3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	3,600	0.4	151	13.1	151	9.2	141	△20.5	69.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期3Q	1,560,864株	2024年2月期	1,560,864株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	129株	2024年2月期	129株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期3Q	1,560,735株	2024年2月期3Q	1,560,735株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
(A種類株式)	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	—	—	32,000.00	32,000.00
2025年2月期	—	—	—		
2025年2月期(予想)				32,000.00	32,000.00

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(第3四半期累計期間) .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(収益認識関係) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間（2024年3月1日～2024年11月30日）におけるわが国経済は、社会活動並びに経済活動の正常化が進み、雇用環境や個人所得の改善により緩やかに回復したものの、歴史的な円安による物価の上昇やエネルギー価格の高止まりが継続しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、台風や酷暑等の天候不順における原材料費の高騰、賃上げや労働力不足の解消のための人件費、求人費の上昇といった費用の増大を招いており、業界を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、「To Entertain People～より多くの人々を楽しませるために～」という企業理念のもと、「食で好きをもっと楽しく」の実現を経営方針として掲げ、飲食サービスの健全な成長とコンテンツ企画サービスの拡大をさせてまいりました。

また、当第3四半期会計期間において、中間会計期間に引き続き全社員向けの社内研修制度「SLDアカデミー」を実施いたしました。ブランディング研修においては店舗施策の立案についてグループディスカッションを行い、また、自社店舗において実践形式にて食材や飲料のさらなる知識を深め、新たな楽しみ・喜び・体験といった付加価値をお客様に提供できる人材育成をいたしました。引き続き当社は人材育成を成長エンジンと位置づけ、社員教育のコンテンツを拡大し、さらなる人的資本への投資を推進してまいります。

#### (飲食サービス)

飲食サービスにつきましては、すべての店舗においてお客様に安心して飲食を楽しめる空間を提供するために、更なる「CS（顧客満足度）と収益力の向上」を掲げ、集客改善に向けた設備投資などを実施しております。また、サービス向上のため従業員に対する教育施策やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、人材・店舗資産を有効活用するなど業務の効率化を図ることにより、人手不足の解消にも努力をしております。

当社店舗においては、「食」×「コンテンツ」をテーマに掲げ、アニメ、音楽アーティスト、キャラクターなどの優良のコンテンツとのコラボレーションをしたメニューとコンテンツを楽しんでいただける空間を創出する店舗を拡大したことで、飲食サービスの既存店舗の業績は好調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間における当サービスの売上高は1,979百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

#### (コンテンツ企画サービス)

コンテンツ企画サービスにつきましては、アニメやゲーム、漫画、アイドル、音楽アーティスト等の優良コンテンツを活用した常設のコラボカフェの展開、他社が経営する飲食店舗の開店支援業務及び運営業務の受託などいわゆる企業間取引（BtoB）のビジネスモデルであるプロデュース事業などへの取り組みを行っております。

当第3四半期累計期間においては、運営受託店舗のキャラクターカフェについて、円安を背景にインバウンド需要による訪日外国人観光客にご好評いただき、売上高の拡大を図ることができました。また、当第3四半期会計期間において、IPコンテンツを活用した企画を他社が経営する飲食店舗に提案し、自社開発したIPコンテンツを活用したメニューを他社が経営する飲食店舗に提供するという取り組みを実施いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間における当サービスの売上高は789百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高が2,769百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益108百万円（前年同期比12.8%増）、経常利益107百万円（前年同期比5.7%増）、四半期純利益103百万円（前年同期比14.5%増）となり、2019年2月期に決算期変更しているものの当第3四半期累計期間において株式上場以来の最高益を更新することができました。

当第3四半期累計期間において直営店舗を1店舗閉店し、29店舗となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比較して37百万円増加し、1,085百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して38百万円増加し、714百万円となりました。これは主に、売掛金39百万円が増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して3百万円増加し、370百万円となりました。これは主に、工具、器具及び備品が3百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して33百万円減少し、628百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して34百万円減少し、552百万円となりました。これは主に、未払費用24百万円、短期借入金100百万円が増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が150百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して大きな変動なく76百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して71百万円増加し、456百万円となりました。

これは主に、その他資本剰余金が32百万円減少したものの、四半期純利益を103百万円計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年4月12日の「2024年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	321,031	303,327
売掛金	274,196	313,243
原材料及び貯蔵品	18,841	19,038
未収入金	4,615	12,762
その他	57,510	65,998
流動資産合計	676,196	714,370
固定資産		
有形固定資産		
建物	375,700	374,176
減価償却累計額	△330,504	△327,500
建物(純額)	45,196	46,676
機械及び装置	9,000	9,000
減価償却累計額	△8,999	△8,999
機械及び装置(純額)	0	0
工具、器具及び備品	126,551	132,695
減価償却累計額	△118,759	△121,293
工具、器具及び備品(純額)	7,791	11,402
有形固定資産合計	52,987	58,078
無形固定資産	545	196
投資その他の資産		
投資有価証券	1,500	1,500
繰延税金資産	49,414	49,414
敷金及び保証金	259,200	259,200
その他	3,387	2,051
投資その他の資産合計	313,503	312,166
固定資産合計	367,036	370,441
繰延資産		
株式交付費	5,091	925
繰延資産合計	5,091	925
資産合計	1,048,323	1,085,737

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,192	94,730
未払金	80,620	83,099
未払費用	132,000	156,578
短期借入金	19,655	119,655
1年内返済予定の長期借入金	163,500	13,500
預り金	19,235	37,325
未払法人税等	5,218	4,038
資産除去債務	2,599	—
その他	76,642	43,397
流動負債合計	586,664	552,324
固定負債		
資産除去債務	73,951	74,550
その他	1,884	1,884
固定負債合計	75,835	76,434
負債合計	662,499	628,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,876	48,876
資本剰余金	383,808	351,808
利益剰余金	△47,692	55,462
自己株式	△168	△168
株主資本合計	384,823	455,978
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	385,824	456,978
負債純資産合計	1,048,323	1,085,737



(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)
売上高	2,703,604	2,769,120
売上原価	549,771	540,160
売上総利益	2,153,832	2,228,959
販売費及び一般管理費	2,057,451	2,120,285
営業利益	96,380	108,673
営業外収益		
受取利息	2	35
受取保証料	10,361	2,652
固定資産売却益	473	—
その他	1,697	2,467
営業外収益合計	12,535	5,155
営業外費用		
支払利息	1,273	1,048
株式交付費償却	4,165	4,165
その他	2,030	1,422
営業外費用合計	7,469	6,636
経常利益	101,446	107,193
特別損失		
減損損失	7,630	—
特別損失合計	7,630	—
税引前四半期純利益	93,815	107,193
法人税、住民税及び事業税	3,733	4,038
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	3,733	4,038
四半期純利益	90,082	103,154

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社の税金費用については、年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期会計期間より事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しています。

なお、この変更による四半期財務諸表に与える影響はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	10,672千円	11,077千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
飲食サービス	1,894,249	1,979,166
コンテンツ企画サービス	809,354	789,953
顧客との契約から生じる収益	2,703,604	2,769,120
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	2,703,604	2,769,120